

EAST TIMES

東日本保証広報誌 2026 冬号



特集 「ねがう」

特集「ねがう」

「ねがう」をキーワードに、社会資本整備に関わるさまざまな取り組みについて考えていく

12

新年にねがう

Photo Gallery

新しい年の始まりに
1年の多幸を「ねがう」



氣比神宮(702年建立 福井県敦賀市)



14

「生誕100年(没後25年)記念展示 古川修の建設業の世界」展の紹介

建設産業図書館

04

回復をねがう

災害復旧現場の惨状で心身の不調
作業員のメンタルの回復を「ねがう」

巻頭インタビュー

筑波大学 名誉教授 松井 豊 氏



08

将来の入職をねがう

ルボ 「除雪カード」で好奇心をそり
将来の担い手に入職を「ねがう」

一般社団法人栃木県建設業協会 日光支部 支部長 榎本 美明 氏

16

連載「けんせつのでんせつ」シリーズ85

建設の幻獣 5

大いなる建設者たち

建設産業図書館事務局 江口 知秀



ダイダラボッチ
(当館職員 上原由子画)

18

トピックス 山梨支店から
願いを叶える
個性的な建造物



グリンبانクチャペル
(山梨県甲府市 写真提供:山梨英和中学校・高等学校)

10

ねがい、寄り添う 名建築

地域の話題 よりみちこの街 Vol. 35

人々が祈り、「ねがう」神田明神
人々に寄り添う 築地本願寺

鈴木 伸子



神田明神・隨神門(東京都千代田区 写真提供:神田明神)



表紙の写真

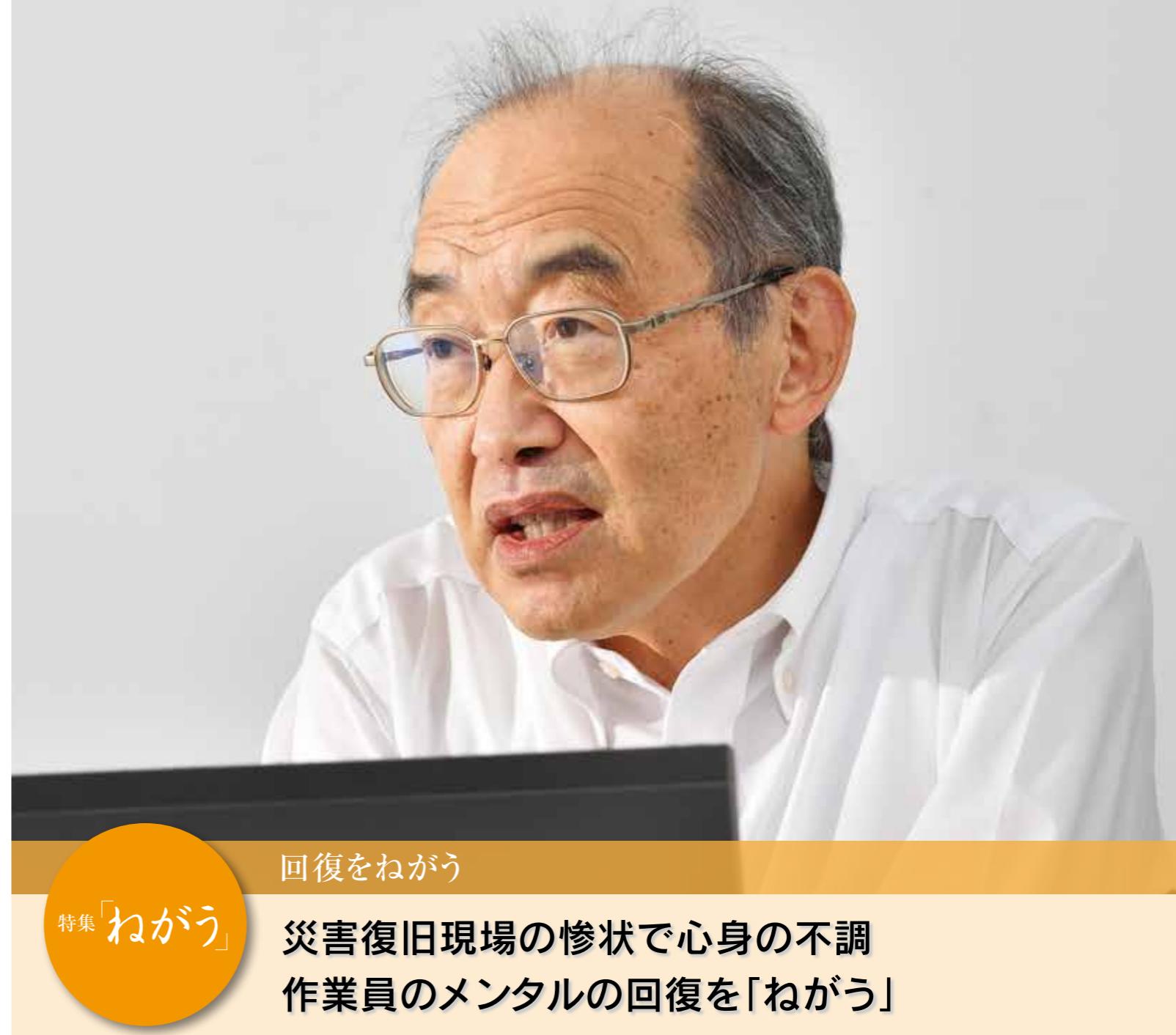
おりおりおおくにたまじんじゅ

尾張大國靈神社 拝殿

(愛知県稲沢市)

江戸初期特有の、簡素で端整な社殿様式の拜殿。檜皮葺・切妻造の屋根、内部に総円柱の柱が並立する稀有な建物で、歴史的意匠と構法を良好に伝えることから、昭和30年(1955)、重要文化財に指定された。かけがえのない平和な日常が未永くよう願いを込めて、多くの人が初詣に訪れる。

P12-13 Photo Gallery
「新年にねがう」をご覧ください。



回復をねがう

災害復旧現場の惨状で心身の不調 作業員のメンタルの回復を「ねがう」

筑波大学 名誉教授

松井 豊氏

卷頭インタビュー

災害復旧の現場に一番乗りする地域建設業の従事者。東日本大震災では、がれきの撤去作業と行方不明者の捜索が同時に行われ、ご遺体に遭遇することもあった。こうした惨事に対する訓練を受けている自衛隊員や消防職員とは違い、経験したことのない惨状に、心身の不調を訴える作業員もいた。いわゆる惨事ストレスだ。地震や台風などの災害復旧現場で作業を行うにあたり、自身や同僚の不調にどう気付き、ストレスケアにどう取り組んだらよいのか——。第一人者である筑波大学名誉教授の松井豊氏に聞いた。

——惨事ストレスとはどういうもの指すのですか。

松井 惨事に直面した時やその後に生じる外傷性ストレス反応

です。惨事とは、火災、ビルの倒壊、地震、洪水、津波などです。被災者・被害者はもとより、そのご家族や救援・復旧にあたる職業の方などが被害を受けることになります。

建設業従事者として災害復旧にあたる方が惨事ストレスを受けることは、9・11アメリカ同時多発テロの時に明らかになりました。

男性社会は弱音を吐きにくい 症状の見極めは具体的な問い合わせ

——建設業従事者については、具体的にどんな反応や症状が見られると考えられますか。

松井 ストレス性身体症状や

心的外傷後ストレス障害 P T S D (Post Traumatic Stress Disorder) などが表れます。

まずストレス性身体症状で言

えば、寝付けなくなります。何かしなくては、何かやり残したことがあるのでは、と寝ていられない。また食欲不振になる。ご遺体を扱った後は、肉を食べられなくなります。下痢や便秘もよ

く表れます。このほか、疲労感が抜けない。被災地では宿舎がなく、車中や寝袋での就寝を強いられるという背景もあります。

組織内でストレスケアに取り組まれる方は、こうした症状を頭に入れておいてください。

建設会社のように、男性が多い社会では弱音を吐きにくく、体調を尋ねてもまず、「大丈夫です」という答えが返ってくるため、本当のところが分からぬ。そこで、「眠っていますか」「何時に寝ましたか」「何時に起きましたか」と、具体的に尋ねる。これなら睡眠時間まで分かります。身体症状からストレスの有無を探り当てられるのです。

——もう一つのPTSDは、どんな症状が表れますか。

松井 突然、辛い経験の光景や記憶が蘇る「侵入」と呼ばれる症状があります。思い出したくないのに勝手に蘇ってくることから、侵入という言葉を使います。

何かをきっかけに突然光景が蘇るフラッシュバックは、その典型例です。被災地で建機操作中にご遺体に遭遇してしまった作業員は、レバーの感触と同様の感触を感じることで、辛い光景が蘇ることがあります。

ります。もう被災現場にはいないのに、まだそこにあるかのような錯覚に陥るのは、危険な兆候です。早めに医療機関を受診すべきです。

「持続的回避」と呼ばれる症状もあります。辛い時のことを思い出さないようにする、辛い感情を味わわないようになります、といったものであります。特徴的な症状は、会話を回避する。思い出してしまったのを避けようとして、会話できなくなるのです。「認知と気分のネガティブな変化」という症状では、例えば解離性健忘が起きます。PTSD症状の中では一般的な症状で、記憶が飛んでしまうのです。またネガティブな信念や予想という症状では例えば、「もう一生、楽しいことはない」とあります。また食欲不振になる。ご遺体を扱った後は、肉を食べられなくなります。下痢や便秘もよ

ります。

●惨事ストレスの主な症状

体に起きる変化—ストレス性身体症状

- 睡眠系(寝付けない、再入眠できない、悪夢)
- 消化器系(吐き気、胸やけ、過食、食欲不振、胃潰瘍)
- 泌尿器系(下痢、便秘、頻尿)
- 呼吸器系(息苦しさ、空咳、過呼吸、喉の違和感)
- 循環器系(高血圧、動悸)
- その他(疲労感、多汗、偏頭痛など)

心に起きる変化—PTSD

- 侵入症状(苦痛な記憶、フラッシュバックなど)
- 持続的回避(会話の回避など)
- 認知と気分のネガティブな変化(解離性健忘など)
- 覚醒(激しい怒り、睡眠障害など)

(提供:松井 豊氏)

人々が祈り、「ねがう」神田明神 人々に寄り添う築地本願寺

神社、寺院の社殿や本堂は、長い歴史があり、人々に親しまれてきたものも多い。都内には、建築物としても優れ、文化財的な価値を持つ寺社建築も数多くあり、それらを名建築という視点で見直してみると、その価値を再認識することになるだろう。

震災復興期に鉄骨鉄筋コンクリートで造営された社殿

江戸総鎮守として知られる神田明神は、本郷台地上に鎮座する東京を代表する神社。奈良時代の天平2年(730)に創建し、江戸幕府開府後に現在の場所に遷座。幕府の庇護を受けて、庶民に至るまでの広い信仰を得るようになった。

江戸時代後期に建立された社殿が明治維新後も長らく存在し、出すために表面は漆塗りとするなど、一見して鉄筋コンクリート造に見えない工夫が随所に施されている。



神田明神文化交流館(写真提供:神田明神)

一見して奇想の建築 古代仏教様式の浄土真宗寺院

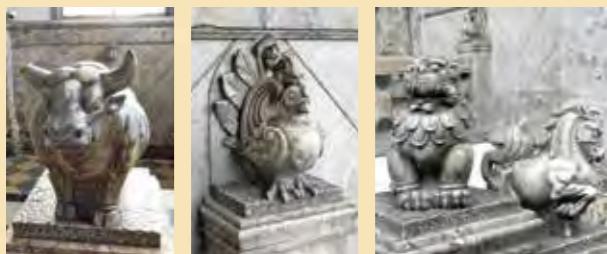
銀座から徒歩圏、築地場外市場にも近い場所に立つ築地本願寺は元和3年(1617)に創建した。江戸時代は浅草にあったが明暦の大河で焼失し、延宝7年(1679)に現在の場所に再建。しかし再び関東大震災による火災で焼失。

その後、神田明神造営顧問も務めた伊東忠太の設計により、昭和9年(1934)に現在の本堂が再建された。その建物の構造も鉄骨鉄筋コンクリート造であり、インド等アジアの古代仏教様式を採用した建物の細部には、インド以外に和洋折衷の建築要素が取り入れられている点が独創的だ。

伊東忠太は、明治日本の近代建築の祖・辰野金吾の弟子であり、近代日本で初めて建築史という学問を体系化した人物でもある。その建築作品には、都内だけでも、国立市にある一橋大学兼松講堂、墨田区の東京都慰靈堂、東京都復興記念館、文京区の湯島聖堂、港区の大倉集古館などがある。



築地本願寺・本堂(東京都中央区 重要文化財)



境内の各所で、動物好きの伊東忠太博士が設置した動物像が見られる。牛、孔雀、獅子、馬の他に象や猿など全13種類



インフォメーションセンター

伊東は建築研究のためにアジア各国を探検。その後、仏教伝来クロードを明らかにするためにシリ寺派門主の大谷光瑞と出会ったことでこの建物を設計することになった。そのエピソードを反映するように、建物の外観はアジアの古代仏教を思わせる様式が取り入れられ、オリエンタルな雰囲気の動物の彫刻が各所に配されているなど、一般的な日本の仏教寺院とは大いに異なる不思議な建物だ。

しかし本堂内に入ると、正面には本尊である阿弥陀如来像が安置され、日本の仏教寺院ならではの参拝空間に多くの人々が集う。この本堂を含め、正門・北門・南門の門柱、大谷石の石碑は、国の重要文化財に指定されている。

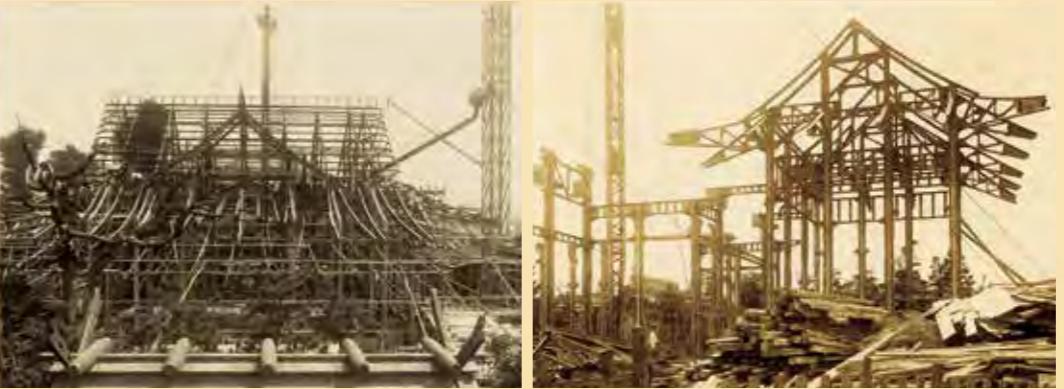
関東大震災で焼失。現在の社殿は、震災復興事業により、昭和9年(1934)に鉄骨鉄筋コンクリート造、屋根は銅板葺きで竣工した。古来、寺社建築は木造で釘や金物を使わず木組みの工法で建立されたのが一般的だったが、関東大震災の復興期は、近代建築の技術が飛躍的に進歩・普及した時代でオフィスビル、商業施設、集合住宅などの鉄筋コンクリート化が進み、神耐震建築として再建される時代背景があった。

造営顧問には、東京帝国大学建築学科教授で、それまで榎原神宮、平安神宮、明治神宮などの造営を担当していた伊東忠太が就任し、設計は、やはり神社建築の権威である大江新太郎と、早稲田大学建築学科教授で、それまで榎原神宮、平安神宮、明治神宮などの造営を担当していた伊東忠太が就任し、設計は、やはり神社建築の権威である大江新太郎と、早稲田大学建築学科の創設者でもある佐藤功一が担当した。

デザイン的には、小屋組を鉄骨にして軽量化、柱の本数を増やして細くし、木造の風合いを



神田明神・御神殿(東京都千代田区 国登録有形文化財)



(写真提供:神田明神)



2	1	
3		
6	5	4
9	8	7

1.氣比神宮(702年建立 福井県敦賀市) 2.尾張大國靈神社(創建時期不明 愛知県稻沢市) 3.太平山の山頂に奥宮、秋田市広面赤沼に里宮が鎮座する太平山三吉神社。奥宮がある太平山は、かつて女人禁制で非常に険しい山だったため、老若男女が参拝できる里宮が建立された。勝利成功・事業繁榮の守護神として広く崇拝されている。(673年建立 秋田県秋田市 写真提供:同社) 4.大洗磯前神社には、御祭神が降臨したとされる岩礁に建てられた神磯の鳥居がある。(856年創建 茨城県大洗町 写真提供:同社) 5.年間1,000万人超が参拝に訪れる成田山新勝寺。毎年立春前日には節分会が開かれ、力士や俳優による豆まきが行われる。正徳2年(1712)に建立された三重塔は重要文化財。(940年開山 千葉県成田市 写真提供:同寺) 6.寒川神社は全国唯一の八方除の守護神として約1600年の歴史を持つ。御社殿は総檜造りで、拝殿には216名が一度に着席可能な参列席が設けられている。(456~479年奉幣 神奈川県寒川町 写真提供:同社) 7.加賀百万石を治めた前田家ゆかりの寺として親しまれている妙成寺。境内には10棟もの重要文化財があり、北陸唯一の五重塔は寺のシンボルとなっている。(1294年建立 石川県羽咋市 写真提供:同寺) 8.久能山東照宮は徳川家康公を御祭神としてお祀りする全国東照宮の創祀。国宝の御社殿は極彩色の権現造・総漆塗となっている。(1617年建立 静岡県静岡市 写真提供:久能山東照宮) 9.日本仏法最初の首寺[※]で、聖徳太子が建立した四天王寺。焼失と再建を繰り返しながらも、創建当時の建築様式を忠実に再現している。(593年建立 大阪府大阪市 写真提供:同寺)



新しい年の始まりに 1年の多幸を「ねがう」

統いでは、愛知県稻沢市に鎮座する尾張大國靈神社(通称・国府宮)。尾張国の總社で、總鎮守・農商業守護・厄除の神として広く信仰を集め、多くの人が初詣に訪れる。毎年旧正月13日には、厄払いの神事として知られる「はだか祭」が行われることでも有名だ。徳川初期建立の拝殿、足利初期建立の楼門はいずれも重要文化財に指定されている。

この他にも、全国にはさまざまなお利益で知られる神社仏閣がある。背筋が伸びるような神聖な場所へ、1年の多幸を願いに訪れてみてはいかがでしょうか。

まずは福井県敦賀市に鎮座する氣比神宮。北陸道の總鎮守で、交通・航海安全、農漁業始め衣食住の生活全般を護る神として崇められ、地元では「けいさん」の愛称で親しまれている。元禄2年(1689)には松尾芭蕉が訪れ、月の光が照らす境内には芭蕉の像と句碑がある。高さ約11mの大鳥居は日本三大木造鳥居の一つとして知られ、重要文化財に指定されている。

新年を迎える、その年の無病息災や家内安全を願って神社や寺院に参拝する初詣。今号では訪れてみたい神社仏閣を紹介する。

Photo Gallery

※ 国家の監督下にあり、国家から経済的な支援を受けて運営されていた寺院

展示のあらまし

さて、本展示は戦後期昭和20年代にあつて、建設業の業態が注目されたことを受け、その産業構造を一般向けに紹介したことからベストセラーとなりました。

『にっぽん建設業物語』は、佐藤工業株式会社の創業130周年記念事業として平成4年（1992）に刊行され、古川先生とその教え子たちが中心となつた「建設業を考える会」によって執筆されました。こちらも『日本の建設業』と同じく一般向けであり、建設業の通史が簡潔にまとめられています。

また、わが国初の建設産業政策文書「21世紀への建設産業ビジョン」（昭和61年2月）および、入札改革を踏まえて産業政策の基本方向を示した「建設産業政策大綱」（平成7年4月）に刻まれた古川資料から概観します。

さて、本展示は戦後期昭和20年代にあつて、建設業の業態が注目されたことを受け、その産業構造を一般向けに紹介したことからベストセラーとなりました。

『にっぽん建設業物語』は、佐藤工業株式会社の創業130周年記念事業として平成4年（1992）に刊行され、古川先生とその教え子たちが中心となつた「建設業を考える会」によって執筆されました。こちらも『日本の建設業』と同じく一般向けであり、建設業の通史が簡潔にまとめられています。

●展示構成

展示テーマ	主な内容
1.建設業研究と建設業行政・産業政策のはじまり	戦後復興期における大成長／コレット旋風の衝撃 など
2.「日本の建設業」三十代若き古川修先生の登場	『建設業総合工事業の生産規模に関する研究』や『日本の建設業』などを発表
3.古川修先生の資料:建設業の「小宇宙」	古川修文庫の紹介／手書きのメモ・ノートなど
4.建設業のあるべき競争の姿を求めて	昭和50年代の不況による大きな転換／新しい建設業政策 など
5.古川修先生晩年の「2つの新たな研究」	応札者側の入札戦略へのまなざし／「市場単価」方式の構築を主導
6.競争環境確立への厳しい道程	没後から現在に至る建設産業政策

「生誕100年(没後25年)記念展示 古川修の建設業の世界」展 案内
会期:令和7年(2025)11月5日(水)～令和8年(2026)3月27日(金)
会場:建設産業図書館内展示コーナー

無料にてご覧いただけます。



日本で唯一の建設専門図書館

建設産業図書館 利用案内

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ1階

電話: (03)3545-5129 FAX: (03)3545-5141

開館時間: 9:30～16:30

休館日: 土・日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間

利用料金: 無料

●主な収蔵分野: 建設産業史、社史・団体史・伝記、建設統計、建設業経営、建設関連法規、建設関連文学

●特設文庫: 古川修文庫、菊岡俱也文庫

●館内施設: 閲覧席22席、AV視聴コーナー2席、検索コーナー2席

●貸出: 2週間以内5点まで。宅配による貸出・返却も可

<https://www.ejcs.co.jp/library/>



建設産業図書館

「生誕100年(没後25年)記念展示 古川修の建設業の世界」展の紹介

建設業研究と産業政策への貢献

令和7年（2025）は当館の産みの親ともいいうべき故・古川修京都大学名誉教授の生誕100年および没後25年にあたりました。それを記念して令和7年11月5日（水）から館内にて「生誕100年（没後25年）記念展示 古川修の建設業の世界」展を開催しています。古川先生の経歴などと合わせて展示概要をご紹介します。

業績と人柄

古川先生は「建築経済」という言葉自体が目新しかった時代にあって、建築物のつくり方の合理化、近代化をどのように進めていくべきかという建築生産の研究に取り組みました。

建設業が営む生産活動は、日本全体会の産業構造のなかでどのような位置づけになるのか、産業間の比較においてどのような特徴があり、合理化、近代化という面でどのようなレベルにあるのかといった視点に立たれ、建設産業研究のパイオニアとしてご活躍されました。また、多くの門下生を育て上げ、今日の斯界の礎を築かれたのです。

古川先生は親分肌で面倒見のよいお人柄であり、行政や企業に対して迎合しない厳しさがありながら催しておりますので、ぜひご来館ください。



当館とのご縁

平成7年（1995）4月に策定された「建設産業政策大綱」に建設関連総合図書館・博物館の建設」が取り上げられました。その構想を推進したのが建設省建設経済局建設業課長（当時）だった竹歳誠氏と建設産業政策委員会の委員長を務めていた古川先生でした。竹歳氏や古川先生は、建設業には文化的基盤となる施設が必要だと長年考えておられたのです。

一方で研究者としては、業界紙の切り抜きにはじまる資料収集、建設企業・団体と接触しての豊富な情報把握、広範な書物涉獵を通して、膨大なデータから客観的な分析を行う「建設業の観察者」としての姿勢を崩しませんでした。

著書

例えば建築生産を軸に建設業論の体系化を目指した学位論文『建設業総合工事業の生産規模に関する研究』は、昭和37年（1962）度の日本建築学会賞を受賞し、古川先生が自らの進むべき道を示された指針とも言べき論考です。



蔵書検索可

当館はこの構想に基づいて平成14年（2002）に開設されましたが、初代館長となつた菊岡俱也氏は、かねてより古川先生の薰陶を受けており、そのご縁から当館の根幹資料として、平成12年（2000）8月に古川先生のご遺族から蔵書が寄贈されました。

これらの蔵書は建設業関連の幅広い分野の図書と、ご自身の研究分野であった建設労働や建築生産関連が多い報告書（いわゆる灰色文献）と合わせて約3900点で構成されており、「古川修文庫」として一般公開しています。もちろん、「古川修文庫」には、ご自身の著書も含まれているので代表作をいくつかご紹介しましょう。

けんせつ の でんせつ

シリーズ 85



ダイダラボツチ

太古、日本列島にはダイダラボツチという巨人が住んでおり、山や湖を造ったという伝説が各地に残っています。富士山も彼の作品らしいので、おそろいまでの大男だったようです。

「富士山を造るために、土を取った跡

ダイダラボツチ(当館職員 上原由子画)

しかし、意外なことに東京の世田谷区にあった小さな橋を架けたといふ話もあります。

代田橋の駅名などがその名残ですが、

富士山に比べてずいぶん小さな細工に思えますね。手先も器用だったのでしょうか。

『新修世田谷区

が甲府盆地となつた、あるいは琵琶湖、東京湾となつた」「大昔、ダイダラボツチが富士の山を背負おうとして、足を踏ん張った時の足跡が相模野にある大沼となつた。また、この原に植物の藤が無いのは、ダイダラボツチが背負縄にするつもりで藤ヅルを得られなかつた因縁で、今でも成長しない」

しかし、意外なことに東京の世田谷区にあった小さな橋を架けたといふ話もあります。

代田橋の駅名などがその名残ですが、

富士山に比べてずいぶん小さな細工に思えますね。手先も器用だったのでしょうか。

『新修世田谷区

史 上巻は、江戸前期の仮名草子『紫の一本』にその伝説があることを示し、これによつて少なくとも17世紀にはこの話が存在していたことがわかります。

「大多橋は、四谷新町の先、篠塚の手前にて大多ボツチが掛けたる橋也、大多とは大人にて百合若大臣といつた。大力ありて強弓を引き、よく礫をうつ、世田谷の代田には、ダイダラボツチの足跡という大きな崖地があつた」

ここでいう「百合若大臣」とは、幸若や説教節で語られた超人的英雄のことであり、蒙古軍を打ち破つたなどと語られていました。

乙媛(おとひめ)
さて、ダイダラボツチは、むくつけき大男といったところですが、女性も負けてはいません。例えば、鹿児島県志布志市の枇榔神社に祀られる乙媛です。由緒によると、乙媛は天智天皇と里穎姫の間に産まれたのですが、自分の子ではない

『志布志から一里ばかりの沖合に周囲約二里の枇榔島がある。此の島に祀

られる人物について、それとはまったく逆の伝説が伝わつてゐる場合もあります。『旅と伝説』昭和6年(1931)

3月号から紹介しましょう。

「志布志から一里ばかりの沖合に周

囲約二里の枇榔島がある。此の島に祀

られる人物について、それとはまったく逆の伝説が伝わつてゐる場合もあります。『旅と伝説』昭

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

今号の巻頭インタビューでは、「惨事ストレス」についての記事を掲載しました。この記事を取り上げようと思ったきっかけは、15年前に発生した東日本大震災です。当時、私はグループ会社で金融事業に携わっていました。復旧作業を支援するため被災地に赴かれたお客様から「がれきの撤去といつても、実際には搜索活動で毎日泣いていた」というお話を伺いました。その経験から、災害復旧の現場で働く方々の心のケアについて、何か対策が講じられているのだろうかと、ずっと気になっていました。

その後、広報誌の制作に携わるようになりました。2025年4月のある日、テレビから「被災地で救援活動にあたる消防職員や災害ボランティアのストレスについて…」という言葉が聞こえてきました。「惨事ストレス」の被害者として挙げられていたのは、消防職員や警察官、医療関係者、災害ボランティアでしたが、建設業従事者も同様に該当するのではないかと思い、松井先生に取材をお願いしました。建設業従事者に関する「惨事ストレス」の詳しい研究・調査は、まだ十分には行われていないようですが、本号の記事が、被災地での復旧活動や、防疫活動に従事する皆さまの心と身体を守るための参考となれば幸いです。

特集一覧

2014年	2015年	2016年	2017年
冬:よみがえる	冬:へらす	冬:くみあわす	冬:しる
春:のばす	春:もてなす	春:ささえる	春:やすむ
夏:はかる	夏:さかせる	夏:つなぐ	夏:いかす
秋:たくわえる	秋:こわす	秋:たのしむ	秋:あゆむ

2018年	2019年	2020年	2021年
冬:つかう	冬:あたたまる	冬:とりくむ	冬:ひきつける
春:かえる	春:かんがえる	春:つなぐ2	春:つたえる2
夏:ふせぐ	夏:めざす	夏:たかめる	夏:ふかめる
秋:つたえる	秋:みせる	秋:みちびく	秋:ととのえる

2022年	2023年	2024年	2025年
冬:かさねる	冬:はたす	冬:かたる	冬:かがやく
春:むきあう	春:つくる	春:あらためる	春:むかえる
夏:みなおす	夏:きずく	夏:つどう	夏:かなえる
秋:えがく	秋:めぐる	秋:みちびく2	秋:みつける

EAST TIMES

禁転載

東日本建設業保証株式会社
<https://www.ejcs.co.jp>

事業内容: 公共工事の前払金保証、中間前払金保証、
契約保証、契約保証予約

公表資料: 公共工事の動向、建設業景況調査、
建設業の財務統計指標

公開施設: 建設産業図書館

※本誌の掲載のうち、意見を述べた部分については、執筆者の個人的見解であることをお断りします。
※誌面に関するご意見・ご要望、送付先変更等につきましては、弊社ホームページ「お問い合わせ」フォームより送信願います。



が身延山に滞在していた約9年の間、故郷である房州小湊（現在の千葉県鴨川市）の両親と師匠である道善房を追慕するため、西谷の草庵から約5.5kmの道なき道を行き、幾度となくこの山頂に登つたと伝えられています。ちなみに「思親閣」という名称は、親を思うという、この逸話に由来するそうです。

今回は内観・外観が魅力的で神秘的な施設を紹介しましたが、山梨県には富士山など雄大で神



久遠寺の三門は京都の南禅寺や東福寺と並ぶ「日本三大三門」の一つと言われている^{※2}



高低差104m、傾斜50度の菩提梯はまさに「心臓破りの階段」

(写真提供:日蓮宗総本山 身延山久遠寺)

聖な自然スポットやご利益のある神社・寺院などがまだたくさんあります。皆さんも、そんな場所に足を運んで祈願してみませんか。きっと、無病息災、家内安全、商売繁盛、良縁成就など、あらゆる願いが叶うと思います。

皆さんは願いごとを叶えたいとき、どこを訪れますか？一般的には、神社、寺院、教会などが頭に浮かぶと思います。ほかには、山や滝、海などの自然が生み出すスポットといったところでしょうか。意外な場所としては、皇居や城郭などもあるようです。

ここ山梨県内にも、そういう施設や場所が数多くあります。その中から内観・外観が特徴的な「グリンバンクチャペル」と「身延山久遠寺」を紹介します。

グリンバンクチャペルは、甲府盆

地を見下ろす高台に位置する山梨英和中学校・高等学校（甲府市）の講堂として、昭和24年（1949）に建てられました。チャペルの名前となつている「グリンバンク」は、カナダ人宣教師で同校校長を務めたグリンバンク女史に由来しています。

3層からなるこの建物は、1階が

鉄筋コンクリート造の焼瓦貼りの教室、2・3階は木造モルタル仕上げの講堂・ホールです。屋根は切妻造り^{※1}のT字形スレート葺きとなっています。レトロなシャンデリア、船底を引つくり返したような天井、そ

れを支える梁の交差が

魅力的な講堂は、高さ

約10m。明るさと開放感あふれる2層吹き抜けとなっています。

令和4年（2022年10月、登録有形文化財建造物）に指定されたこのチャペルは、学

校の礼拝やイベントのほか、コンサ

トや講演会など地域の人々が参加で

きる活動にも利用されており、教育

の場としてだけではなく、地域コミュニ

ティの活性化に寄与する場として

も重要な役割を果たしています。

一方、身延山久遠寺は、南巨摩郡

身延町にある日蓮宗の総本山として

知られています。日蓮聖人が文永

11年（1274）に身延山に入山

後、鷹取山の麓の西谷に草庵を構

え、約9年間にわたり法華経の読誦

と門弟たちの教導に専念。弘安4年（1281）11月に草庵を廃して本格

的な堂宇を建立し、自ら「身延山妙法華院久遠寺」と命名したのが始ま

りと言われています。

寺内を巡る見どころをいくつか紹

介します。まずは身延山の正門の「三

門」。間口23m、奥行9m、高さ21m

の壮大なスケールと精巧な造りのこ

の門は、近代的な禅宗様式の二重門

の好例とされており、仏教における

諸説あります。

ところで、菩提梯がなぜ287段

になっているかご存知でしょうか？

門ではなく三門と表しています。

「菩提梯」は、三門と本堂を一直

線に結ぶ急勾配の石段で、悟り（菩

提）の境地に向かう階段と言われて

います。石段の数は287。日蓮宗

で唱えられるお題目「南無妙法蓮華

経」の7文字を1段に1字ずつ唱え

ながら登ると、41回目で頂上にたどり着くようになっています。

ところで、菩提梯がなぜ287段

になっています。

門ではなく三門と表しています。

「菩提梯」は、三門と本堂を一直

線に結ぶ急勾配の石段で、悟り（菩

提）の境地に向かう階段と言われて

います。

門ではなく三門と表しています。

「菩提梯」は、三門と本堂を一直

線に結ぶ急勾配の石段で、悟り（菩

提

建設産業と、ともに歩みつづける



東日本建設業保証株式会社

建設業界への入職促進・イメージアップ動画公開中!!



YouTube 東日本建設業保証公式チャンネル

